

(28.9.12)

本日、ここに9月定例府議会を招集いたしましたところ、議員の皆様におかれましては、御多忙の中お集まりいただき、まことにありがとうございます。

それでは、今回提案させていただいております議案につきまして、御説明申し上げます。

まず、第1号議案平成28年度一般会計補正予算についてであります。今年度の当初予算及び6月補正予算では、「京都府地域創生戦略」の本格稼働のための予算や、医療・介護・福祉や災害対策などの府民の安心・安全を確保するための予算を計上し、現在、その推進に全力を挙げて取り組んでいるところであります。

一方で、京都府内の経済情勢は、地域によっては、まだら模様の上、観光産業等は依然好調であるものの、円高等の影響により、ものづくり産業を中心に先行きの不透明感が増しており、この機を逃さず、中小企業支援などもう一段の経済対策が必要であります。

ただ、国においては、今月下旬に予定されている臨時国会で新たな経済対策のための補正予算が提案される見通しであり、その動向を踏まえる必要があるため、今回の補正予算においては、第1次緊急経済対策として、これまでの厳

しい状況から新たな動きが見えてきた伝統産業の設備投資に対する支援を行うほか、まさに今、リオ2016パラリンピック競技大会が開催されておりますが、障害者スポーツの振興など、共生社会を実現するための取組み、さらに、子育て・高齢者の安心・安全のための施策や、6月定例会で御議決いただきました「災害からの安全な京都づくり条例」に基づく府民防災力の向上に向けた取組みを進めることといたしました。また、来年度ターゲットイヤーを迎える「お茶の京都博（仮称）」についても開催準備に万全を期すなど、当面の課題に的確に対応するため、総額13億4,400万円となる一般会計補正予算をお願いしているところであります。今後、第2次緊急経済対策につきましても、国の補正予算の状況を見ながら、速やかに対応してまいりたいと考えております。

今定例会には、一般会計補正予算のほか、特別会計の補正予算や条例の改正、決算認定に係る案件なども合わせ、全18件の議案につきまして審議をお願いしております。

御議決いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。